

## 麻疹感受性調査(平成13年度)

亀山 妙子 三木 一男 山西 重機  
Taeko KAMEYAMA Kazuo MIKI Shigeki YAMANISHI

## はじめに

麻疹感受性調査は、平成12年度から調査地区に指定されている。今回は、県内の保健所及び5医療機関の小児科、県立医療短大に協力をお願いし、0歳～64歳の男女240名について調査を実施した。採血時に問診表によるワクチン歴調査と血清使用許可の署名も併せてお願いした。

## 材料及び方法

2001年7月から12月までの間に採血した0歳～64歳の男女240名の血清を対象にゼラチン粒子凝集法(PA法)による麻疹抗体測定をおこなった。

## 結果及び考察

ワクチン接種歴をみると1歳児の50%、2～3歳の56%、4～6歳児の94%、7～9歳の90%、10～14歳の83.3%がワクチン接種を受けていた。

麻疹ワクチンの定期接種年齢は、12ヶ月～90ヶ月未満の小児とされているが麻疹患者の中では1歳児が最も多く、この年齢のワクチン接種率を向上させることが急務である。

0歳児の抗体は、母体からの移行抗体の存在によるもので37.5%の陽性率であった。4歳以降はワクチン接種率の上昇に伴い陽性率も90～100%となった。

ワクチン接種によって獲得した抗体は、加齢と共に低下することが危惧されている。しかし、今回の調査では抗体陽性者の平均抗体価 $2^{8.45} \sim 2^{11.00}$ で、加齢による抗体の低下は認められなかった。

麻疹感受性調査

抗体価 年 齢	検査数	抗体価											陽性率(%)	
		<16	16	32	64	128	256	512	1024	2048	4096	8192		
0	8	5			2		1							37.5
1	12	6	1					1	1	2		1		50
2～3	25	7				4	1	2	2	2	2	5		72
4～6	17				2	4	1	1	3	2	3	1		100
7～9	10	1			1		2		4	2				90
10～14	18	1		1		2	3	1	4		4	2		94.4
15～19	29	2		4	2	4		1	4	8	2	2		93.1
20～29	42	1		3	4	4	3	7	5	7	6	2		97.6
30～39	21				1	1	1		2	5	6	5		100
40以上	58			1	3	4	5	6	8	9	15	7		100
合 計	240	23	1	9	15	23	17	19	33	37	38	25		90.4

## &lt;麻疹ワクチン接種歴 - 有&gt;

抗体価 年 齢	検査数												平均抗体値 ( $2^n$ )	
		< 16	16	32	64	128	256	512	1024	2048	4096	8192		
0														
1	6		1					1	1	2		1	9.66	
2~3	14	1				3	1	2	1	2	2	2	9.92	
4~6	16				2	4	1		3	2	3	1	9.31	
7~9	9				1		2		4	2			9.33	
10~14	15					1	3	1	4		4	2	10.27	
15~19	13			1	1	2		1	2	6			9.23	
20~29	22	1		3	1	2	1	5	3	4	2		8.45	
30~39	5				1						3	1	11	
40以上	5					1		1			3		10.4	
合 計	105	2	1	4	6	13	8	11	18	18	17	7		

## &lt;麻疹ワクチン接種歴 - 無&gt;

抗体価 年 齢	検査数												
		< 16	16	32	64	128	256	512	1024	2048	4096	8192	
0	8	5			2		1						
1	5	5											
2~3	11	6				1			1			3	
4~6													
7~9	1	1											
10~14	2	1				1							
15~19	4	1			1				1	1			
20~29	2					2							
30~39	2					1						1	
40以上	7						2		1	1	2	1	
合 計	42	19			3	5	3		3	2	2	5	